

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 藤井孝宗	(学部) 経済
<p>1 重要事項</p> <p>2013年度は、2012年から開始した科研費研究プロジェクト「国際運輸サービスの自由化及び輸送費用の低下が貿易・企業立地に与える影響（若手研究B24730214）」の2年目として、引き続き本研究プロジェクトに関する研究を行った。特に、国際運輸サービスに関するコストをある程度定量的に把握するためのデータベースの作成、およびそのデータベースを利用した暫定的な分析とその結果の検討などに時間を費やした。科研費研究プロジェクト以外としては、これも以前より行っている海洋漁業資源貿易と資源保護との関連に関する研究を多く行った。本科研費研究課題およびその他の研究課題について、以下の通り国際学会に参加し発表を行った。</p> <p>“Trade and Fishery Resources: An Empirical Analysis on Global Trade (with Yasuhiro Takarada)” presented at European Association for Fisheries Economists (EAFE) 2013 Conference at Heriot-Watt University, Edinburgh, Scotland, 14-16 April 2013</p> <p>“Intra-Regional Intra-Industry Trade Patterns in East Asia and Europe: Production Differentiation or Production Fragmentation?” presented at European Regional Association International 53rd Congress at University of Palermo, Italy, 27-30 August 2013</p> <p>“Automobile Tax System, Fuel Price, and Preference Shifting: How Does Green Tax Regime Promote Green Car Consumption in Japan? (with Mariko Futamura)” presented at European Regional Association International 53rd Congress at University of Palermo, Italy, 27-30 August 2013</p> <p>“Trade and Fishery Resources Exploitation: An Empirical Analysis on Global Fisheries (with Yasuhiro Takarada)” presented at SFU/NIESG Joint International Workshop on Globalization, International Trade, and Macroeconomic Dynamics at Simon Fraser University, Vancouver, Canada, 16-17 December 2013</p> <p>また、以下の学会に参加し、討論者またはセッション座長として発表者との質疑、討論を行った。</p> <p>日本国際経済学会関西支部研究会：関西学院大学梅田キャンパス，2013.09.07，「摂南大学田中鮎夢氏論文” Geographic Concentration of Foreign Visitors in Japan” に対する討論</p> <p>日本国際経済学会第72回全国大会：横浜国立大学，2013.10.13-14，第15分科会「中国経済」座長</p> <p>IDE-JETRO/NIESG Joint International Workshop “East Asian Economic Integration: New Perspectives on Trade, Investment, and Development” 3rd Session Chair, Grande Centre Point Hotel Ratchadamri, Bangkok, Thailand, 4-5 November 2013</p> <p>その他、一般フロア参加者として参加した学会、研究会は以下の通り</p>	

NIESG 第 34 回定例研究会 (2013. 05. 25, 東北大学大学院国際文化研究科)、日本国際経済学会第 3 回春季大会 (2013. 06. 08, 福岡大学)、20th Annual Conference of the European Association of Environmental and Resource Economists (2013. 06. 26-29, University Toulouse 1)、立命館大学 BKC 社系研究機構研究所重点プログラム「上河泰男先生メモリアルセミナー：現代国際貿易論の新展開」(2013. 11. 09, キャンパスプラザ京都)、NIESG 第 38 回定例研究会 (2014. 03. 18, 広島修道大学)、中京大学経済学部附属経済研究所セミナー (2014. 03. 26, 中京大学)

また、本年は 2 冊の研究書の執筆グループに参加し、それぞれ 1 章の執筆を担当した。担当した研究書および担当執筆箇所のタイトルは以下の通り。

高崎経済大学経済研究所編『デフレーション現象への多角的接近』(日本経済評論社) 第 1 章「貿易自由化と「輸入デフレ」」担当

神頭広好・麻生憲一・角本伸晃・駒木伸比古・張慧娟・藤井孝宗著『日本における水辺のまちづくり II：近江八幡市および松江市を対象にして』(愛知大学経営総合化学研究所) 第 6 章「街並み保存地区と水辺の環境との相乗効果による観光需要掘り起こしの可能性：3 地区の比較」担当

2 その他の事項

教育活動としては、経済学部中野正裕准教授、山森哲雄准教授とともに経済学会開講科目の新カリキュラム作成のために、とくに経済学基礎理論のコースワークをきちんとしたものにするためのカリキュラムづくりのために努力した。また、学部ゼミにおいては、研究発表の機会として、法政大学高橋里佳ゼミ、麗澤大学溝口哲郎ゼミとともにインターゼミナールの研究発表会を行い、ゼミ学生の勉学意欲の向上と他大学との交流をめざした。